

体験型オンラインセミナー 2時間でわかる! 個別原価と アワーレート計算



大きさの違う設備、このアワーレートの違いで大丈夫だろうか?
多台持ちと1台持ちのアワーレートはどう考えたらよいのだろうか?

厳しい価格交渉を乗り切るには適切な製造原価が不可欠

厳しい顧客との価格交渉、どこまで下げれば受注できるか、それには適切な製造原価が必要です。製造原価を計算するには各工程のアワーレート(チャージ)が必要ですが、現場には様々な工程があり費用も異なります。150トンと450トンの射出成型機、多台持ちのNC旋盤、24時間無人加工の放電加工機のアワーレートの違いはどうやって計算すればよいのでしょうか?

決算書をベースに計算することで、簡単に個別原価が計算できるユニークな手法

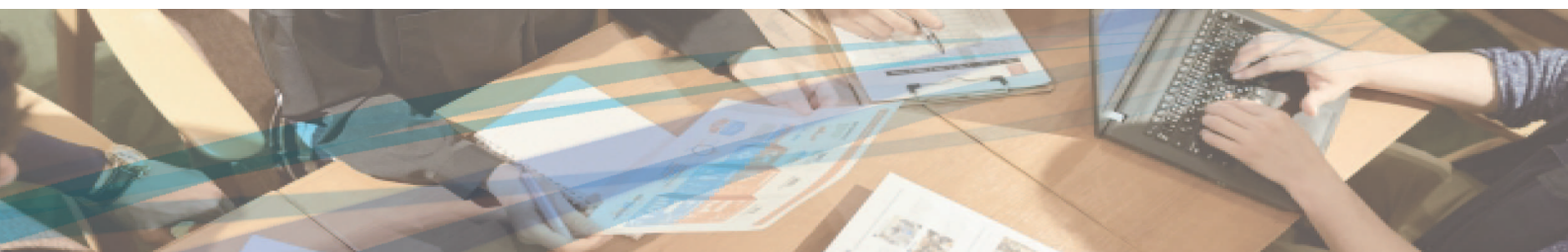
アワーレートの計算から個別原価の算出は、原価計算の専門書に詳しく書かれています。しかし、専門書に書かれている細かく費用を積み上げる方法はとても複雑で、中小企業には容易ではありません。しかし工場全体の一年間の費用は決算書にあります。決算書の費用を現場毎に分配すれば、個別原価の計算はとても簡単になります。

そうすることで

- 150トンと450トンの射出成型機、
- 多台持ちのNC旋盤、
- 24時間無人加工の放電加工機

のアワーレートが容易に計算できます。弊社ではこの手法を「利益まっくす」と名付け、この考え方をまとめた冊子「中小企業・小規模企業のための個別製造原価の手引書【基礎編】」「中小企業・小規模企業のための個別製造原価の手引書【実践編】」を販売しています。

多くの中小・小規模企業が活用し、顧客との交渉に役立てるように取り組んでいます。



受講者自らエクセルを入力する大変ユニークな

体験型オンラインセミナー

製造業の原価計算の基礎とアワーレートの計算を学ぶ
オンラインセミナーを開催します。

講師の話聞くだけでなく、セミナー中に計算シートを使って受講者自身が様々な数値を入力して

- 有人工程と無人工程のアワーレートの違い
- 50トンと450トンの成形機のアワーレートの違い
- 2,100万円と6,300万円の設備投資回収の違い

シミュレーションで体験し、より深く理解できるユニークなセミナーです。

講義とシミュレーションを組み合わせることで、通常のセミナーや書籍では実感しにくい費用と原価の関係がリアルに実感できる新しい形のオンラインセミナーです。

これまでに受講した方からも「初めて使用しましたが、とても便利でした。講師側でもちゃんと入力チェックしてくれているので、安心して受講できました」というお声をいただいています。

6 / 9 (水) 14:00~16:00

受講料:27,500円 (25,000円+消費税2,500円)

定員:10名

締切:6月2日(水)

セミナーの内容

- 1) 製造原価の基礎
- 2) アワーレートの計算方法
- 3) 稼働率と原価の関係
- 4) 設備の大きさによる原価の違い
- 5) 設備投資の回収計算

講師:株式会社アイリンク 照井清一

工作機械・電子部品組立機メーカー
(富士機械製造(株))で設計、生産技術、
品質保証に24年間従事し、多くの中小
企業との新規取引や共同開発を行う。
平成22年中小企業診断士登録。

現在は、中小企業、特に製造業の原価計算、利益改善、
新技術開発支援などのコンサルティングを行っている。



お申込みは弊社ホームページからお願いします

<https://ilink-corp.co.jp/>



iLINK

株式会社アイリンク 照井清一

〒444-0835 愛知県岡崎市城南町2丁目13-4

TEL 0564-77-6810 FAX 0564-77-8203

E mail info@ilink-corp.co.jp